

## 歴史総合パートナーズ19 パリを歴史する—市庁舎と自治—

(2025年11月21日 第1刷発行)

以下の通り、当該書籍の内容を訂正していただくよう、お願い申し上げます。

2026.1

ページ	箇所	誤	正
44	下から 2~1行目	新たに十進法に基づく革命暦が採用され、共和政のもとで新しい時間が始まります。	新たに十進法に基づく革命暦が採用されたとき(1793年)、共和政のもとで新しい時間が始まると定められます。
44-45	p.44 最終行～ p.45 1行目	12月には激論の末、国民公会はルイ16世に死刑を宣告し、1793年1月、ルイはギロチン台でその生を終えました。	12月には国王裁判が始まり、翌年1月、国民公会はルイに死刑を宣告します。
45	4~9行目	国民公会でジャコバン派(モンターニュ派ともいいます)が、コミューンの求める方向に沿った政策を主張します。しかし、ロベスピエール(Maximilien Marie Isidore de Robespierre, 1758-1794)率いるジャコバン派は、国民公会の中では少数派でした。そのため1793年5月31日と6月2日、パリ民衆が協力し威圧する中で、ロベスピエール等のジャコバン派(モンターニュ派ともいいます)は、対立するジロンド派を国民公会から追放します。	国民公会ではロベスピエール(Maximilien Marie Isidore de Robespierre, 1758-1794)率いるグループが、コミューンの求める方向に沿った政策を主張します。1793年5月31日と6月2日、パリ民衆が協力し威圧する中で、ロベスピエール等のジャコバン派(モンターニュ派ともいいます)は、対立するジロンド派を国民公会から追放します。